

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度 第3回相模原市経営評価委員会		
事務局 (担当課)		経営監理課 電話042-769-9240(直通)		
開催日時		令和元年8月1日(木)18時15分~19時40分		
開催場所		相模原市役所 本庁舎本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	市			
	事務局	4人(経営監理課長 他3人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 委員長及び副委員長の選出</p> <p>(2) 「第2次さがみはら都市経営指針実行計画」平成30年度の取組結果評価について</p> <p>(3) さがみはら行財政改革推進指針について</p>			

審 議 経 過

1 開会

定足数及び傍聴者の確認を行い、経営評価委員会を開会した。
主な内容は次のとおり。

2 議事

- ・ 互選により、経営評価委員会委員長を山口委員、副委員長を坂本委員として選出した。
- ・ 「第2次さがみはら都市経営指針実行計画」平成30年度 of 取組結果評価について、事務局より評価方法等を説明し、評価については、次回以降の委員会において継続審議を行うこととされた。
- ・ これまでの委員会の審議を踏まえ、さがみはら行財政改革推進指針の修正案について、事務局より説明を行った後、概ね承認され、SDGsの掲載方法や、より分かりやすい概要版の作成等について、次回の委員会において継続審議とされた。

(以下、質疑応答・意見交換 は委員の発言、 は事務局の発言)

【議事(2)】

- 効果額について、計画が進行していくと、将来的に効果額は減っていくことも想定される。将来的に効果が薄くなっていったときに、効果がなくなったとミスリードを招きかねない。
- 例えば、未利用地の売却は、単年度の売却益より、将来の固定資産税等の税込確保や人が住むことによる経済活動などの効果の方がはるかに大きいため、掲載方法によりミスリードを招きやすいことから、気をつける必要がある。
説明や掲載方法は工夫をしていく。
- 個々の取り組みの内容や効果は今後、説明をいただけるということでよいか。
次回以降の委員会において、進行管理シートを基礎に、取組の内容や平成30年度 of 取組結果や、効果を個々に説明していく予定である。

【議事(3)】

- SDGsの記載については、目標や指針の中に入れるという趣旨だと理解するが、指針の体系の中では、パートナーシップしか入れ込めないような印象をもつ。
現状、市の取り組みとして、総合計画や部門別計画に考えてを入れていくということで、皆様の意見を伺いたいと考えて含めている。しかし、経営評価委員会の意見も踏まえ、指針への反映をやめるという選択もあると考えている。
17の国際目標の下にある169のターゲットの中身には、広い解釈として、SDGsと関わりがあると考えられる指針もあるのではないかと考えて反映している。
- 広い解釈で、関わりがあることは理解する。ただし、指針に含めていくのであれば、現状は、策定の背景等への記載等が望ましいのではないか。
指針への反映については、委員会でのご意見を踏まえ、検討していきたい。
- 横浜市や川崎市のように、総合計画に反映していくことはわかりやすいが、当該指針での反映となるとわかりづらいなという印象がある。

総合計画に含める前提で、同様の処置を部門別計画でも行っていこうという市の方針ではあるが、当該指針での反映についてはもう一度検討したい。

- 国連での採択であり、現状は、相模原市でどのように反映していくことが望ましいのかが定まっていないと考える。まずは、市全体として、どのように相模原市で形作っていくのかを検討する段階であることから、現段階において個別計画に反映することは難しいのではないかと考える。
- 当該指針の文章は誰が読むことを想定しているか。
市民や職員向けである。
- 市民が読むとなると、最初の1行で読むのをやめると思う。行政は、説明責任や情報公開を重視している一方で、所定の棚に冊子を置くだけで、市民の興味をそそらないものとなっている。本委員会でも傍聴者がいないという状況であり、この状況を打開する対策をとっていかないと、行政が情報公開や説明責任を果たすということにはならないと考える。
- 例えば、市民協働等の記載もあるが、この指針を見て市民が、「よし協働しよう」とはならないと思う。
- すぐに抜本的な改善は難しく、過去の経過等もある中で、丁寧でキレイな、細かい記載となってしまうと思うが、これでは、趣旨や内容を理解したいと思っただけの市民が減っていくことにならないか懸念がある。
本市として、今後のことを考えると、市民や企業等と一緒に考えていかないと行政運営が難しくなっていく。
指針としては、現状の掲載の仕方を大きく改革することは難しくても、指針を補完するものとして、市民等が興味をそそり、また、読みやすいものを作っていくよう検討していきたい。

3 閉会

全ての審議が終了し、閉会した。

以 上

相模原市経営評価委員会 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	山口 由紀子	相模女子大学 副学長・ 人間社会学部 教授	委員長	出席
2	川崎 一泰	中央大学総合政策学部 教授		出席
3	出雲 明子	東海大学 政治経済学部 准教授		欠席
4	霧生 卓	公認会計士		出席
5	坂本 堯則	相模原市自治会連合会 会長	副委員長	欠席
6	染谷 耕平	相模原商工会議所 青年部副会長		出席
7	三好 上次	公募委員		出席
8	神田 広幸	公募委員		出席
9	青木 庸江	公募委員		出席
10	澤野 光晴	公募委員		出席